

府高退教通信

NO.236

発行
〒543-0021

大阪府天王寺区東高津町七十一
府教育会館7F 大阪府高教内
大阪府立高等学校
退職教職員の手帳

TEL 090-1227-5142
(末光)

FAX 06-6768-1675

許されない住民投票

山上俊夫（北野定）

新型コロナは第2波に入り、「コロナのもとで住民投票は許されない」との声が高い。

松井市長は「非常事態（赤信号）にならない限り住民投票は行う」と宣言。そのため、なんと自慢の「大阪モデル」の基準を、大きくゆるめた。

さらに安倍首相に総選挙と同日投票にしようと働きかけている。ねらいは、総選挙と重なるばハンドマイク禁止になるから。

それでもなくても三密禁止で説明会も、討論会もなく、口を塞いだまま吉村テレビ人気で突破しようというのだ。民主主義のかけらもない。

5年前、橋下市長は「大阪市はなくなりませんよ、なくなるのはあの市役所だけです」とウソをつきつづけた。民主的な討

論を封じるやり口は変わっていない。

大阪府廃止構想＝別名都構想ほど、デマがまかり通り、ファクトチェックが効かないものはない。マスメディアはファクトチェックから手を引き、最低限の事実さえどっちもどっち扱いをする。府立図書館と岸和田市立図書館も二重行政だというのが質問への府市の公式回答だ。

二重行政廃止の財政効果の大ウソも是正されないうままだ。

大阪府は政令指定都市第1号だ。以後、熊本まで20市に広がった。

大阪以外に政令市をやめたいという市はあるのか。つぎつぎ政令市になりたがる市がでるのはなぜか。大きい権限と財源が手に入るから。なのにそれを手離すのは愚の骨頂。市民の不幸。



良い教科書を子どもたちに手渡すのは大人の責任

松村光庸（東住吉）

良い教科書を子どもたちに手渡すのは大人の責任です。しかし、今、私たちは、誤った歴史認識を子どもたちに植え付ける、安倍首相周辺の人々が編纂した中学校の育鵬社版歴史、公民教科書を採択させない闘いを余儀なくされています。この国では、まずは悪い教科書を取り除き、子どもたちに手渡さないと、随分と骨の折れる、しんどい仕事から始めねばならない状況に直面しているのです。

銘じて頑張らねばなりません。前回（2015年）、大阪府で育鵬社版教科書の採択を許しましたが、8月下旬予定の今回の採択では、従来の行きがかりを乗り越え、市民の統一戦線の力で、育鵬社版教科書を不採択に追い込みたいと奮闘中です。展望は十分にあると考えています。前回とは異なって採択区を4つに分割したこと、大阪府教委が私たち「市民の会」との交渉に初めて応じたこと、フジ住宅事件の勝利判決、そして、コロナ禍で安倍首相自身が国民の批

判に追い詰められていくこと、などの有利な状況があるからです。4年間にわたって、私たち「市民の会」は、育鵬社版教科書を読み、批判する活動を展開して、その成果を「ファクト・チェック100」にまとめました。そこで気づいたことは、この教科書は間違いだらけで、殆ど使用に堪えないデータラメなものであることです。大阪府教委に対して、このような教科書を許さず、普通の教科書を採択してくださいとの声をぶつけていきたいと思っています。

近況報告

林 耕二（和泉総合）

自転車転倒しました・・・

今年の2月で七十歳。

そのとたん、国道を疾走していた自転車で転倒して左半身を強打、いまだに腕と足に湿布を貼り続ける毎日。幸い頭は打っておらずあの世へ行くのは免れました。でも翌日の授業は右手が無事だったので3時間教えることができました。

間もなく8月30日に二年ごとの総会がありますが、今年の記念講演は、今問題の新型コロナに先行すること百年前、スペイン風邪の大坂での流行を取り上げています。

今年も和泉総合高校で週4日、6時間非常勤で勤めています。週3日ぐらい自宅から岬公園裏の大坂湾一望の遊歩道までクロスバイクで往復する楽しみも足が回復するまでおあずけとなり、これも何かのいましめか？と思

「建国記念の日」反対大阪連絡会議との共催なので、記念講演には一般の方も自由に参加できます。

8月30日午後3時から大阪府教育会館地下1階オリーブの間です。参加費は一般五百円です。コロナ対応で、会場には間隔を置き、インターネット配信も行っています。

「憲法の価値を考える新刊紹介(上)」

田野大輔

『ファシズムの教室』

仲森明正 (渋谷)

日本国憲法の価値を再認識する上で刺激となる本を二冊紹介します。どちらも大月書店から四月に刊行された新刊です。一冊めは、歴史社会学専門で甲南大学教授の田野大輔さんの『ファシズムの教室―なぜ集団は暴走するのか?』です。

教師扮する「指導者」のもと、ナチス的な「共同体員」と化した受講生たちが示威行動をくり広げ、他人の攻撃にまでいたる貴重な「体験学習」の授業実践を報告し、そ

の分析をつうじてファシズムの「魅力」と本質、危険性にせまる刺激的な本です。

『犬を愛した男』

(2019年 水声社) を読んで

伏見信孝(阪南)

作者レオナルド・パドゥーラは、いわゆる「カストロ体制」が一定規制緩和されるという時代の中で主にスペイン語圏で著名となったキューバの文学者である。中でも2009年に刊行されたこの作品は非常に高い評価を受けたようである。それが10年後ようやく日本でも翻訳版が刊行されたというわけである。

本書は、トロツキーの絶望的ともいえる流浪生活と、彼の暗殺をソ連のため平和のためと狂信

補聴器問題を考える

難聴で悩んでおられる仲間のために

3、ついに補聴器を 購入

勝間 眞(山本)

補聴器購入を決意した私は、まず行きつけの耳鼻科に相談しました。すると医師は、聴力検査を行い、「この数値では障害者として認定はできない。公的補助は受けられないけれど、税金控除は受けられる」と言いました。何と、実は去年(2018年)から控除の

制度が始まっていたのです。医師は、「補聴器適合に関する診断情報提供書」という書類の「医学的情報」欄と「聴力検査の結果」欄を記入して私に手渡し、補聴器を購入した店舗でそのあとを記入してもらい年度末に提出すれば控除が受けられると言います。

私は早速その書類をA社のKさんの所に持って行くと、Kさんからは意外な返事が返ってきました。「この書類は、医師から『認定補聴器専門店』あての書類です。私は『認定補聴器技能者』ですが、当店舗は『認定補聴器専門店』の認定を受けていません。従ってこ

いく道具なのです。その人が日頃どのような生活をしているのか、音楽・演劇・映画・スポーツ等、どのような趣味を持っているかで様々な調整が必要となるのです。そのような千差万別の調整を行える設備や技術・サービスがあるか、ということも購入に際し極めて重要となります。価格も上は60万円からかなり廉価なものまであるようです。

高価格のものの中価格のものとは性能に大差はないようです。私はこの店舗で30万円程度のものを購入し、調整してもらいながら現在使っています。

補聴器をこれから使い続けることと、ぜひとも今後の制度改革が必要です。まず市町村都道府県で補聴器公的補助の決

だが、読んでみると、フィクションから真相に迫るといふ作者の執念を強く感じる。本の題名はトロツキーもメルカデルも(そして作者も)犬を殊更愛したことからつけられたようだ。

盛り込まれている。このスターリンの真相については不破哲三『スターリン秘史』(全6巻2014~15年)がとても詳しく力作だ。こちらは無論文学ではない。

当面の日程

- 【7月】 28日(火) 10:00 総会議案書発送
- 【8月】 3日(月) 語を楽しむ会 (原則第1月曜日)
- 21日(金) 13:00 大退教30回総会 (大阪市社会福祉会館)
- 【9月】 18日(金) 14:00 302回府高退教幹事会 (教育会館ロース)

府高退助氏

門田向日子(布施) NO.190

